

平成23年度鎌ヶ谷市男女共同参画推進懇話会第4回会議録

日 時 平成24年2月21日（火）午前10時～11時30分
場 所 鎌ヶ谷市生涯学習推進センター会議室2
出席委員 内海崎委員、平田委員、三原委員、田中委員、鈴木委員、平林委員、坂本委員、秋元委員、竹内委員
欠席委員 長池委員
事務局 川名男女共同参画室長、中川主査
記 録 中川
傍聴者数 0名

会 議 内 容

- 1 開 会 川名男女共同参画室長
- 2 会長挨拶 男女共同参画推進懇話会会長
- 3 会議録署名人の選出 名簿順により平林委員、坂本委員が選出された。
- 4 議題
(1)「男女共同参画推進計画第1次実施計画」事業評価について
(事務局) 資料により説明。
(会長) 一覧表にも、事業実施度、男女共同参画の視点の説明は入るのですか。
(事務局) 頭かページの下に入れる予定です。
(会長) 所属所用からご意見はありませんか。
(A委員) 前回より分かりやすくなったと思います。特に男女共同参画の視点のところがより具体的になったと思います。事業実施度のC「ほとんど実施できなかった」とD「できなかった」は同義なので「ほとんど実施できなかった」で括ってしまって良いかと思いましたが、Eの「していない」は「実施していない」の方が良いと思います。男女共同参画の視点の2「男女性」となっているのは「男女」の間違いでは。実施できなかった理由、しなかった理由は課題・調整事項に入れるということなので良いかと思いましたが。
(会長) まずは、事業実施度のCとDですが、どうでしょうか。
(B委員) 同じことなので、いらないと思います。
(A委員) 「ほとんど実施できなかった」は取り組んだけれどもできなかった、「できなかった」は取り組みもしていなかったということになるかと思いますが。
(C委員) 「努力しているのにできなかった」と「実施していない」との区別は、課題・調整事項に記載されるので除いても構わないのでは。
(会長) 事務局は記入する立場としてはどうですか。
(事務局) 選択肢が少ない方が分かりやすいです。
(会長) そうすると、Dの「できなかった」を取って、「実施できた」「ある程度実施できた」「ほとんど実施できなかった」「実施していない」の4つの方が記入しやすいということなので、特に異論がなければそうしましょうか。それから、「男女性」は性を取る。「実施していない」「ほとんど実施できなかった」の理由を課題・調整事項に入れるというのは、口頭の指示でしょうか。
(事務局) 口頭でも伝えますし、マニュアルを作るのでその中にも記載します。

(会長) 記入する側が理由を含めて書いているという意識であっても、一覧表の課題・調整事項のところにも説明として、ご覧になる方がそこに理由が含まれていると思って見られるように表を作った方が良いと思います。何らかの形で「ほとんど実施できなかった」「実施していない」に関しての理由について課題・調整事項に含まれているということが分かるように表記をしておいた方が良いかと思います。男女共同参画の視点は非常に分かりやすく具体的になりましたね。もう一つ確認ですが、用紙はこのサイズですか。

(事務局) 管理表はこのA4サイズです。一覧表も同じサイズで考えているのですが、見にくかったらA3サイズにします。

(会長) 進行管理表のこのサイズのこの欄で記述できますか。

(事務局) A3にして取組のところを広くできますが。

(会長) これだけのスペースだとこれだけ書けば良いと思ってしまう。また、もっとあっても書けない可能性がある。

(事務局) A3縦サイズにできます。

(会長) そうすると、空いていると一生懸命やろうと思う。書く方としては、何か探したりするんですよね。

(A委員) A4サイズ縦書きというのは無理ですか。5年度分は難しいですか。

(会長) 5年度分は入らないですね。

(D委員) これはファイルで渡すのですか。ファイルで渡してパソコンで記入してもらうなら、字を小さくするか別紙でも付ければ良いのではないですか。

(会長) そうするとかなり詳しく書けるようになりますね。別紙があった方がより取り組んだ内容が具体的に分かりますね。

(D委員) 内容が入りきらない場合には、添付して最後に項目を入れてご意見を書いてもらう。

(事務局) D委員が仰ったようにファイルで送るので大きさはあまり気にならないかもしれません。

(A委員) 大きさが気にならないのであれば、別紙をつけたりすると却って読みづらいのではないかなと。

(会長) 原則、紙一枚でどうしてもという時は別紙にしますか。

(C委員) 書く立場として別紙だと、この中でとりあえず納まってしまって別紙・別添特にありませんというふうになると結局一緒だと思います。ボランティアの関係で事業報告や事業計画を書くのですが、欄が設けてあると毎年同じようなことをやってもその年にあったことをきちんと書こうというふうに思う。それで足りなかった場合にはフォントを小さくしたり別添をつけたりという形にしています。最初からこれだけで良いと思ってしまうと、やはりやる気がなければわざわざそこまでというのがあります。行政も多分他の課のものなどを見てある程度バランスも考えると思うので、「こういうことも盛り込まないと」「こういうことも考えていかないと」ということに繋がればと思うので、そういう効果を考えて多分一枚の方が意識しやすいのかと思います。

(会長) 原則一枚にして必要に応じて別紙・別添をつけても可としましょうか。それとも、最初から一枚に書いてもらいますか。事務局は記入する側としてどうですか。

(事務局) 一枚の方が書きやすいです。

(会長) では、一枚ということではよろしいですか。サイズについては大きさが気にならないのなら、もう少し記入スペースが取れるようにということになりますね。男女共同参画の視点の5の「事業の効果が女性男性それぞれに寄与した」という

ところですが、記入する側として寄与したというのをどのあたりで見るのか、何を以って寄与したとするのか。他のところは例があったり意見を聞いたとか連携を取ったとかかなり具体的ですが、寄与したというのは抽象的なので何か指針があった方が良いのかと思いますが、何かありますか。事務局としてはこの寄与したというのを具体的にどんなイメージで考えられたのですか。

(事務局) 他のものが1から4までは企画したとかそういうところなので、事業を行った上での効果を感じたというところに入れました。アンケートの結果の中で男女参画を理解できたとかいう効果があった時に入れるイメージです。

(会長) そうすると、何か実施した内容に関してアンケートを取った時に、そのアンケートの中から効果が見られたということを書くということでしょうか。アンケートが取れないような事業の場合はどうでしょうか。

(事務局) 例えば、今載っている表の「女性委員の比率30%」が何らかの努力をして向上したというときには寄与した、というふうになる。実績として上がってくるものもあるのかと。

(会長) それを表記できないですか。例えば、「目標30%達成に関して、26%だったのが27%になって1%だけ上がりました」というとそれは寄与した、数値で見られるものはそういうところで見るとか、講座等についてのアンケートであれば、そのアンケートの中で理解が深まったというので見てみるとか。例えば、DVの相談が0件だったのが3件4件に増えた、それは寄与したになる。そういう相談実績が増えたというのもありますよね。市民の方がご覧になった時に何を以って寄与したと判断したのかというのが分からないですよ。皆さん何か案はありますか。記入の確認ですが、男女共同参画の視点のところでは1から5までそこに全部入れるのではなくて、その中からいくつか選択して入れるとすれば、寄与したというところに数値やアンケートのことを少し入れておいて、その場合この視点を入れてほしいということにすれば分かりやすいですよ。関与していない、計りにくいという場合は入れなくても良いということにしますか。この中から選択すれば良いわけですから、全部入れなくても良いですよ。本来は全部入れていただきたいですが。

(A委員) 寄与したというの分かりづらいですよ。私は寄与したというのを啓発と受け止めた。「事業の効果が女性男性それぞれに男女共同参画の効果的な啓発となった」というのは少し長いでしょうか。

(会長) 長くないと思います。寄与したより分かりやすいですね。

(事務局) 今回は啓発という意識の面もあるし、事業として具体的に成果として上がったという点もあるので、啓発は一つなのかなと思うのですが。

(C委員) 1から4までは他部署との連携を図った、把握したとなっていて事業に対してどういう姿勢で向かったかということだと思います。これは実際に何らかの効果が出たのか出なかったのかということですよ。そうすると、A委員が仰ったようなことや実際の事業目的の達成に近づいたというようなことを文章化したら、そこに当てはまり分かります。あくまでも効果が出たかどうかではなく、準備する時にきちんと念頭において事業計画を立てて実施したかということですよ。5については、それが実際に効果として出てきたのかということになると思うので、啓発になった、達成度を上げたなどを入れると意図が伝わるのでは。

(会長) そうですね。1から4までは各部署がそれぞれの事業を実践する際にどういう意識を持ってやっていたかということなのに対して、5だけは視点が少し変わる。効果というのは事業の実績、啓発になったのか、もし入れるとすればそう

いう形でしょうか。効果というのも何を以って効果を測るかというのも実は突っ込みどころですね。各課が男女共同参画の視点を以って臨んだということだところはいらないかもしれない。4つで良いような気がします。効果というのとはなかなか難しいですね。他の市町村で似たような表記はありましたか。

(事務局) 柏市と同じ形にしました。習志野市は別立てで「施策の方向性に掲げた事項が進捗したかと」という形で書いてあります。

(会長) その方がはっきりしていますね。ただ、男女共同参画の視点の具体的なものとして挙げるわけですから。何かご意見はありますか。

(E委員) 入れるとすれば、習志野市の文言が分かりやすいと思います。

(会長) そうすると、事例ですと30%の達成だが26%が27%になったとかは入れられますよね。「少しだけ進捗した」「目標達成に近づいた」など表記は鎌ヶ谷独自で良いとは思いますが。

(C委員) 全体を見回して、男女共同参画の視点を付記するのは事業に関してその視点を入れたのか、効果まで含めてここで可視化するのかそれによって違ってくると。取組内容と実績内容と課題調整があって今年度の事業の実施度という形で出していきますよね。例えば、進捗状況であれば「ある程度できた」という形で今年度の事業実績に入ってくるとしたらそこにそういう視点が盛り込まれたかどうかで5はいらなくなると思います。視点にそこまで盛り込んでみるというのが全体を見た時にいるのかいないのかも含め考えた方が良いかと。

(会長) 1から4までと5ではそういう意味で性質が違いますよね。

(E委員) 5はどちらかという達成度ですよね。

(会長) これをここに入れてしまうよりも進行管理表と一覧表を見てどれほど達成しているのか、例えば男女共同参画の視点が23年度は1しかなかったものが24年度は1・2・3になったとなると、明らかに視点が増えてきているということで、全体を見たときに各部署が取り組んでいるということが分かって達成に近づいているということになってきますよね。

(C委員) それでも達成度が悪かったら、どこに理由があるのかというところで課題・調整事項のところ付記が出てくると思います。きちんとその意図が伝わればここで5を入れなくても良いのかなという気がします。

(会長) 懇話会の委員が進行管理表をご覧になって「この視点が少なすぎる」「この事業については課題が不明瞭」など話し合っただけで効果があつた・なかったというような意見を述べてまとめるわけですね。そうすると5はそれほど必要ないですね。懇話会の委員が議論をするための材料。各部署の自己評価は必要か。懇話会で話をした後、まとめて評価を出すのなら5がない方がすっきりする。自己評価は別立てにして、自己評価と懇話会の評価は違いますということにしますか。

(C委員) 自己評価は結局言い訳になってしまうことがあると思うので、どういう状況なのか出していただいて客観的に判断する材料にして、自己評価は必要ないかなと。

(会長) 男女共同参画の視点の5は抹消して1から4の4つの視点で各部署の取組姿勢を見るということにしたいと思います。それでは、一覧表に移ります。事務局に確認しましたが、今年度の事業実績と男女共同参画の視点の欄外に書かれているものを一覧表のいずれかの場所にも入れるということです。23年度の取組・実績・課題調整・担当課の評価・24年度の取組内容とありますが、これは23年度を踏まえて24年度の方針ということですか。

(事務局) はい。23年度が終わった後、4月初めにこの提出依頼するので、その時には24年度の取組も始まらなくてはならないので併せて出していただくと

一枚になって次年度はどれをするかも分かりやすいということで、こういう一覧表にしました。

(会長) 事業数は全部でいくつですか。

(事務局) 92です。

(会長) 何ページくらいになりますか。

(事務局) 今のもので19ページです。

(会長) 事業数は半分以下でしたよね。

(事務局) 23年度のとりあえずの計画が出ているので、それと同程度とすると19から20ページ。

(会長) 20ページ程度ならそれ程分厚くないので市民の方も見やすいですかね。

(事務局) 両面印刷で10枚です。

(会長) ホームページでも公開されますよね。

(事務局) はい。

(会長) 特にご意見がなければこの事務局案でいきたいと思いますがいかがですか。公表の際にイラストか何か入りますか。

(事務局) 今までは何も入れていません。

(会長) 会議用でしたら構わないと思いますが、ホームページ上で公開する時に見ていただくための工夫というのは何かできませんか。

(事務局) イラストを入れるというご要望があれば、入れます。

(会長) 中身が硬いですし、見ようかなというふうに思っただけのように、アイキャッチではないですがトピックを最初に入れるなど。今回の進行管理ではこの部分が進んだ、新しい事業を実施したというのを挙げるなど何か工夫がないと。

(C委員) ホームページからアクセスする場合にどういう形で入っていきますか。

(事務局) 市のホームページの男女共同参画室→施策→計画の進捗をクリックして入れます。市のホームページに掲載するには形が決まっています。ページ上にイラストを表示することはできると思いますが。

(C委員) 全体的に行政のそういうものに入っていくのは結構面倒というか探すんですね。男女共同参画室のページ・センターのホームページが常に目に触れるような所がないと、なかなか皆さんに浸透するというのが難しいような気がします。若い人は多分ワーク・ライフ・バランスなどに興味があると思うので、せっかくこういうことを一生懸命やっているのでもできればそういう方たちに見てもらいたい。

(会長) 他の市町村の進行管理表や事業評価の公表の仕方については。

(事務局) 鎌ヶ谷市と変わらないし、公表していないところもあります。

(会長) そうですね。ほとんど変わらないので、そうするとまず見ないですよ。

(C委員) 鎌ヶ谷市も継続のものだけではなく事業に対してきちんと自己評価という形でやっていますが「そういうのは議員くらいしか見ないのでは」と言われたことがあります。これだけのものをやっているのに、市民の人に悪いところも見えないかもしれないけどもがんばっているところも見えない、どうなのかなと。できれば、常にこういう動きをしているというのが興味のある人には簡単に見られ、興味がなかったけど何かの時に見てみてという形にできるような工夫が必要かと思います。

(会長) ホームページを見た時にどこからでも繋がりやすいという工夫と、見てみようかなと思うような公表の仕方の二つ。これはどの段階でそういうことを申し上げて作っていただければ良いでしょうか。

(事務局) 24年度当初に入力されたものを懇話会に諮り、了承が取れば一般公

開になるので、その時点で言うだけでいい。今ご意見をいただいたので、お諮りする時に、そういう工夫ができるか検討します。それに対してご意見をいただいてホームページにアップするという形を取りたいと思います。

(会長) 事務局の方で考えていただいて可能であれば何とかそのやり方で。多分それをやったら、鎌ヶ谷市が初めてになるのではないかと。管理表や計画表をそういう形で見やすくして、というのは例がないと思います。私が関わっている市町村を見てみるとどこも硬いです。

(A委員) 確認ですが、一覧表の右の評価に担当課評価がありますが、担当課というのは当然事業の担当課ですよ。最終的に、男女共同参画室が評価するわけではないですよ。

(事務局) 事業担当課にしますか。

(A委員) 入れるかなくすかどちらかだと思います。

(事務局) 市民の方が見たときに文字を読んでもなかなか分かりにくいので、何をしたというのは多分ここを見てしまうと思います。

(A委員) 左から見ると所属所名も入っているし、事業実施度・男女共同参画の視点も入っているのでいらぬのではないかと思います。担当課評価というのは総合的な評価を担当課がするのかと思ってしまいます。

(事務局) 上の担当課評価という欄自体を消せばよろしいですか。

(A委員) そうと思いますが、いかがですか。

(事務局) 消しても意味が通るので。ある方が混乱するかもしれないですね。担当課評価という表記を削る、でよろしいですか。

(会長) 事業実施度・男女共同参画の視点を書くのは、所属所名に入っているところですね。市民の方がご覧になったときに、取組内容・実績・課題・自己評価を書いているのは例えば一番上ならば行政室がやっているというのはすぐお分かりになる。そうすると、事業実施度と男女共同参画の視点も当然この行政室が書いていることになる。

(A委員) 担当課と入っているとどこが評価したのかと思ってしまいました。

(会長) 煩雑は煩雑ですね。

(B委員) 誤解を招きそうなので、事業担当課評価と入れるか取ってしまうかどちらかだと思います。私も別の部門が評価するのかと思ってしまいました。

(会長) ただ、実施度や男女共同参画の視点というのは評価に関わる部分ですよ。あえて事業担当課評価というのを入れて、市民の方に「担当課はこんなふうに評価しているのか」と視点を向けてもらうということも可能ですね。

(F委員) 評価という言葉だけでは駄目でしょうか。

(A委員) そうすると誰が評価したのかなということになるのではないかなと思います。

(G委員) 自己評価というのはどうですか。ストレート過ぎて良くないでしょうか。硬い言葉が並ぶよりその方が良いかと思います。それか入れない方がシンプルかと。

(C委員) ただ評価としたときに、細部を見なかったり分からなかったりすると「市民もこう評価した」と取れると思います。全体としてはこういう評価だから良いと思ってしまう人もいると思うので、そこは少し注意をした方が良いのかと。

(会長) 自己評価という表記のところはありますか。

(事務局) 柏市は、担当課評価となっていて、鎌ヶ谷市の所属所名が担当課になっていて、それだと関連していると見られるかと。

(会長) 所属所名が担当課だとどこだったか探さないといけないですよ。

(C委員) 札幌市も自己評価になっていますね。

(会長) 分かりやすく自己評価にしてみますか。事務局として、自己評価という表記にした時に庁内で何か問題になることはありますか。

(事務局) 問題はないです。自己評価の方が効果があるのではないかと思います。

(会長) 担当課の方が記入する時に、実施した事業内容に関して自分で評価をしなければならぬという意識は、自己評価と書かれた方がかなり高まると思います。

(E委員) できれば、自己評価の方が良いかと思います。

(C委員) 分かりやすいですね。

(会長) ストレートで分かりやすいですね。市民として見たときにどうですか。自己評価という項目が入っていたら。

(C委員) 自分たちで評価しているのが一目瞭然だと思います。全部を見なくても自己評価が低かったものは何かとそこだけ拾って見るかもしれないし、進んでいる部分だけを見るかもしれない。自分が気になる項目だけを見てこの程度しか達成されていないというような判断もできると思います。

(会長) ただ、自己評価というのは甘くなりますね。その可能性はある。

(C委員) 可能かどうか分かりませんが、自己評価にしたとして他に懇話会評価というのを入れることができれば、また意識も違ってきますよね。

(会長) 懇話会が全ての事業を評価するというのは非常に大変なことなので難しいでしょうが、例えば施策の基本的方向性の(1)に関して評価するということはできると思います。管理表を公表するときにトップに懇話会評価・全体評価として基本的方向性の(1)に関して記載して見ていただく。そうすると、自己評価と懇話会の評価が一致していなかったりするという矛盾が見つかる。

(A委員) 事業実施度・男女共同参画の視点のところに評価を表記してもしなくても、ABC評価などを入れていきますよね。新たな評価があるわけではないので、私は必要ないかと思います。内容は同じなので、紛らわしいものを入れるよりはシンプルにした方が良いと思います。今までの管理表を見ると担当課自己評価になっていますね。

(会長) 自己評価を入れたら、多分懇話会がどう評価しているかということを知りたいでしょうね。自己評価が正しいのかということが必要になると思います。これまで懇話会はそういう役割をしてきたのでしょうか。

(事務局) ざっと見て全体の意見をいただくという形を取っていました。

(会長) 全体ではなく焦点化した評価を書くか大項目の後の小項目になるかは分かりませんが、それでやっていく必要性が生まれますよね。

(事務局) 単年度毎にそれができれば。ただ、それをしようとすると一回ではできないので、年度当初に委員に集中的に何度も集まっていただいて評価を検討していただかなくてはならなくなります。

(D委員) 委員の評価というのは無理でしょう。懇話会で評価するのはできないのではないですか。90数項目あるものをチェックするのは絶対無理だと思います。

(会長) 難しいですね。

(事務局) 一次の計画というのが5年間なので、5年の区切りのところで色々な指標なども併せて評価する方が妥当なのかなと思います。

(会長) 単年度ではそれほど評価が定まらないというのはありますね。1年くらいでできるものと3年5年掛けてというものもあるので、そういう意味で単年度毎に評価することが可能なものがどの程度あるのかということもありますね。例えば5年間の流れを見た上での評価の方が大局的に見られる。それでは、シンプルにということよろしいですか。担当課評価を全て削除してこちらの所属所用をそ

のまま載せるということによろしいですか。一応それでやってみましょうか。他に何かご意見はございますか。

(F委員) 所属所用の男女共同参画の視点の1の文言ですが、「事業対象者の現状把握を把握した」となっています。

(会長) ありがとうございます。「現状を把握した」ですね。他にいかがですか。

(C委員) 管理の一覧の男女共同参画の視点というのがありますが、評価方法が1から4なので、1から4を記載しておいて丸をつけるという形はどうでしょうか。女性委員比率目標などは別ですが、他の事業に入った時にこれだけの項目に配慮したというのとこの一点だけに配慮したというのが、一目瞭然だと思います。比率など項目によっては最初からそぐわないものもあるので、どうなのかとも思いますが、事業項目によっては丸をつける方が分かりやすいものがあるのかと思います。これだけの視点を網羅して実施する準備をしたというのと、視点を一点のみに集中したということが分かるような気がしました。

(会長) 具体的には、男女共同参画の視点という枠の中に1から4の番号を入れておいてそこに丸をつけるというご提案ですね。

(事務局) パソコンの技術的などところで、やり取りをしたときに機種が違わずれたりするので、できれば数字を記入する方が確実なのですが。

(C委員) 分かりました、結構です。

(会長) これは数字を記入していただくということで。他にございますか。

(会長) それでは、特にないようでしたらこれで終わりにさせていただきます。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成24年4月5日

氏名 平林 光江

氏名 坂本 健